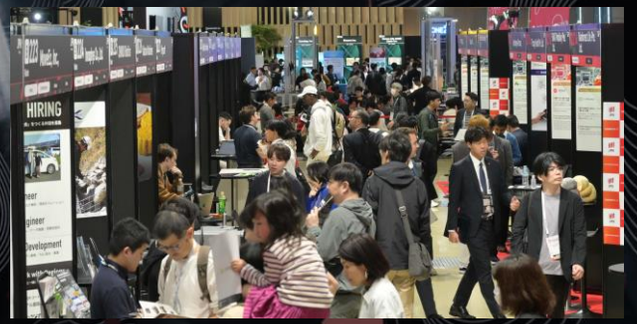

SusHi Tech TOKYO 2026
Sustainable High City Tech Tokyo
SusHi Tech TOKYO 2026

SusHi Tech TOKYO 2026

Sustainable High City Tech Tokyo













参加者

43,705 ▶ **60,779人**

100 ▶ **103の国・地域**

商談

6,136 ▶ **25,140件**

出展

スタートアップ 607 ▶ **798社**

海外VC 506 ▶ **580人**

持続可能な都市を先端技術で実現することを目指し、スタートアップ、大企業、投資家、都市など多彩なプレイヤーが集結するアジア最大のグローバルイノベーションカンファレンス

4月27日、28日 ビジネスデイ
4月29日 パブリックデイ
@東京ビッグサイト



登壇者 女性比率50% 海外比率54%
※主催者セッション
615 ▶ **678**人



ピッチコンテスト応募 60の国・地域
657 ▶ **820**社



シティパートナー 24の国・地域・都市
16 ▶ **21**パビリオン



コーポレートパートナー
47 ▶ **68**社



オールジャパン ※19の大学が参加
35 ▶ **48**自治体

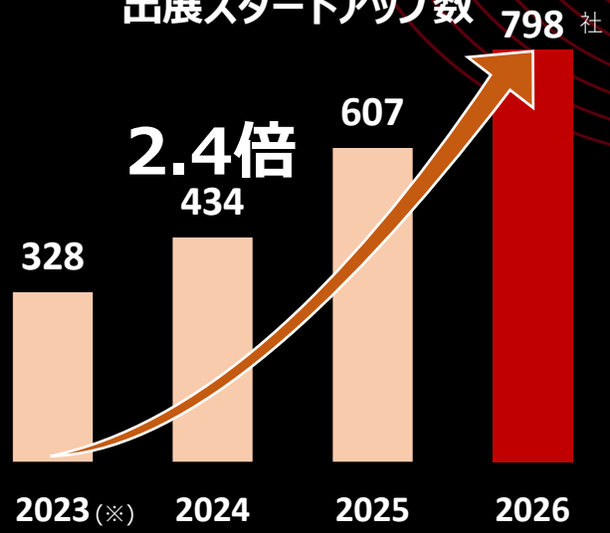


パートナーイベント
115 ▶ **139**

メディアパートナー：17 ▶ **40媒体**　　アンバサダー：304 ▶ **345**社　　▶ の左側は前回実績

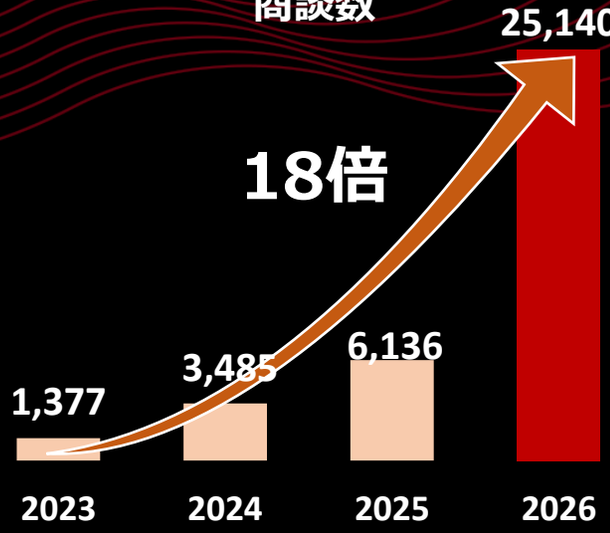
数字で見る SusHi Tech の進化と成果

出展スタートアップ数



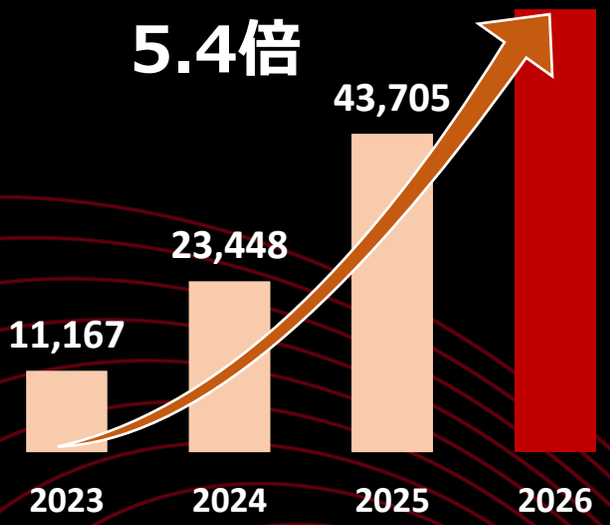
※City-Tech Tokyo

商談数



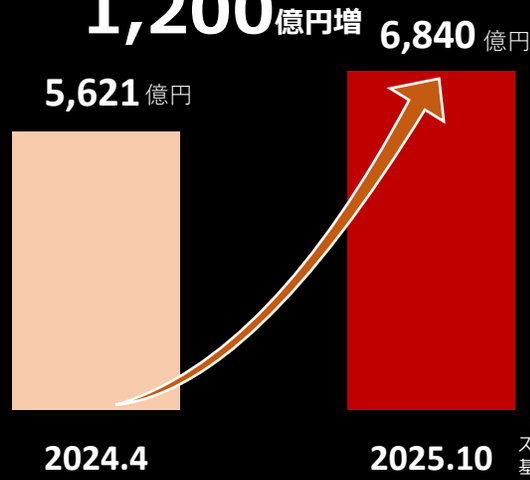
参加者数（※）

※リアル参加者数 60,779 人



出展スタートアップ評価額総額（※）

※2024出展スタートアップ（全434社）のうち、評価額が捕捉できた115社の合計額



（出典）
スピーダスタートアップ情報リサーチを基に作成（2025年12月時点）

SusHi Tech に参加したスタートアップの急成長



Oishii Farm Corporation

※2024・2025・2026セッション登壇

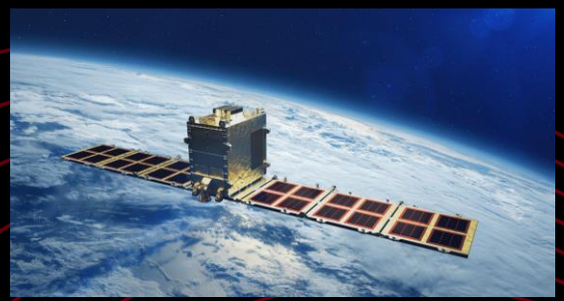
・日本の技術を基盤とし、AI・自動化などを活用した次世代農業システムを構築し、高品質ないちごなどを生産・販売する植物工場スタートアップ
・**優秀な人材の採用**に繋がり、**具体的な商談ができた。**取材を受けて世界放映され**海外からも大きな反響**があった
・2026年5月、米国での農場拡張、東京拠点での研究開発強化等のため、240億円の資金調達を発表



京都フュージョニアリング株式会社

※City-Tech Challenge（2023）グランプリ、2026出展

・京都大学発のフュージョン（核融合）エネルギースタートアップとして、プラント機器、プラズマ加熱装置、燃料サイクルなどの分野で世界トップクラスのエンジニアリング技術を有し、世界各国の顧客に技術開発からシステム納入まで一貫して提供
・会場では、**投資家50社、スタートアップ30社ほどと交流**できた。**グローバルでもトップレベルの参加者が集まっていた**
・City-Tech.Tokyoへの参加も追い風となり、現在までに**累計約160億円の資金調達**に成功



株式会社Synspective

※City-Tech Challenge（2023） 登壇、2024・2026出展

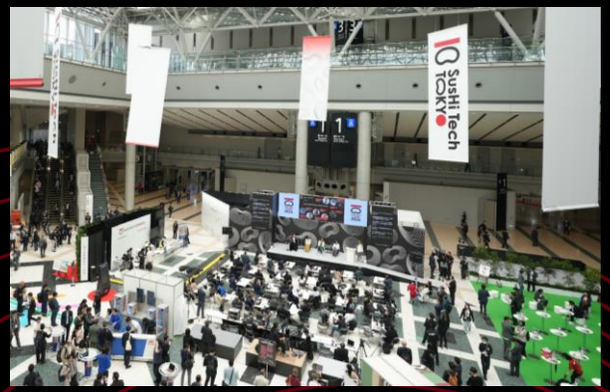
・小型SAR衛星コンステレーションを用いて地球観測データを取得し、地盤変動解析などの衛星データソリューションを提供
・2024出展後、「**小型 SAR 衛星の開発・運用**」に**70億円の資金調達**
・2024年12月、**東証グロース市場でIPO**
（2024.4 調達後評価額 **449億円** → 2026.6 時価総額 **約2,000億円**）

３日間の参加者が6.1万人と過去最高を更新

- ビジネスデイ **7千人増**（＋24%）、パブリックデイ **1万人増**（＋69%）
- 新たなビジネス機会の充実に加え、子供や若者が楽しみながら先端技術や未来の都市を体験できる機会としても大きく拡大

区分	2026	2025	増減
ビジネスデイ	**35,683**	28,854	6,829（+23.7%）
パブリックデイ	**25,096**	14,851	10,245（+69.0%）
計	**60,779**	43,705	17,074（＋39.1%）

※オンライン視聴数を含めた参加者は、76,382人（2025年は57,698人）





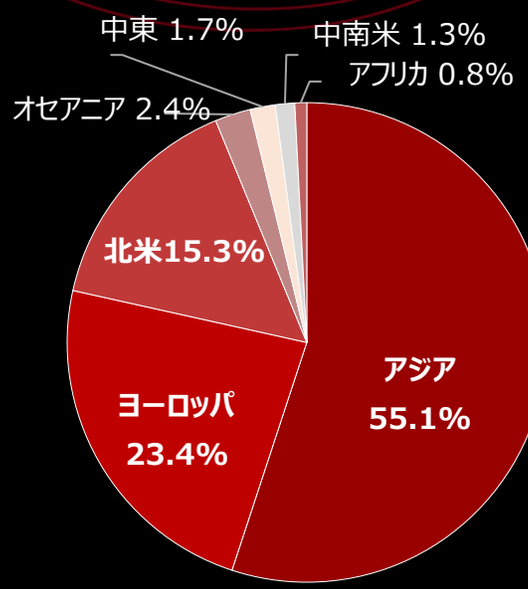


103の国・地域から（前回100）スタートアップや大企業・VCが多数参加

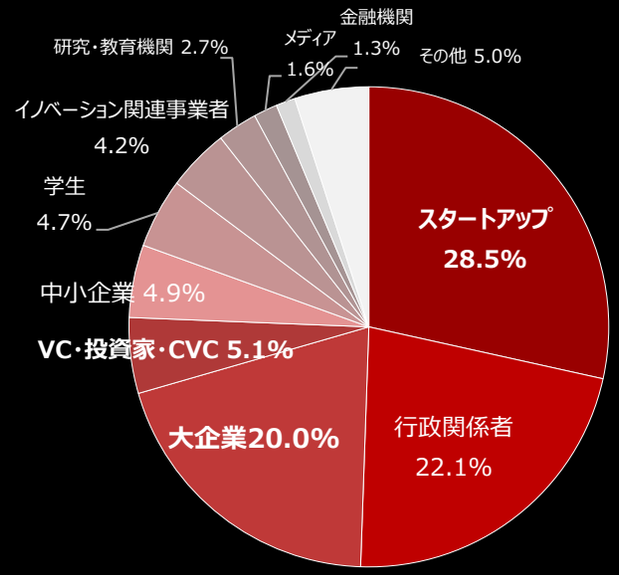
参加者 国内外内訳

区分	人数
国内	29,120
海外	6,563
計	35,683

海外内訳



属性





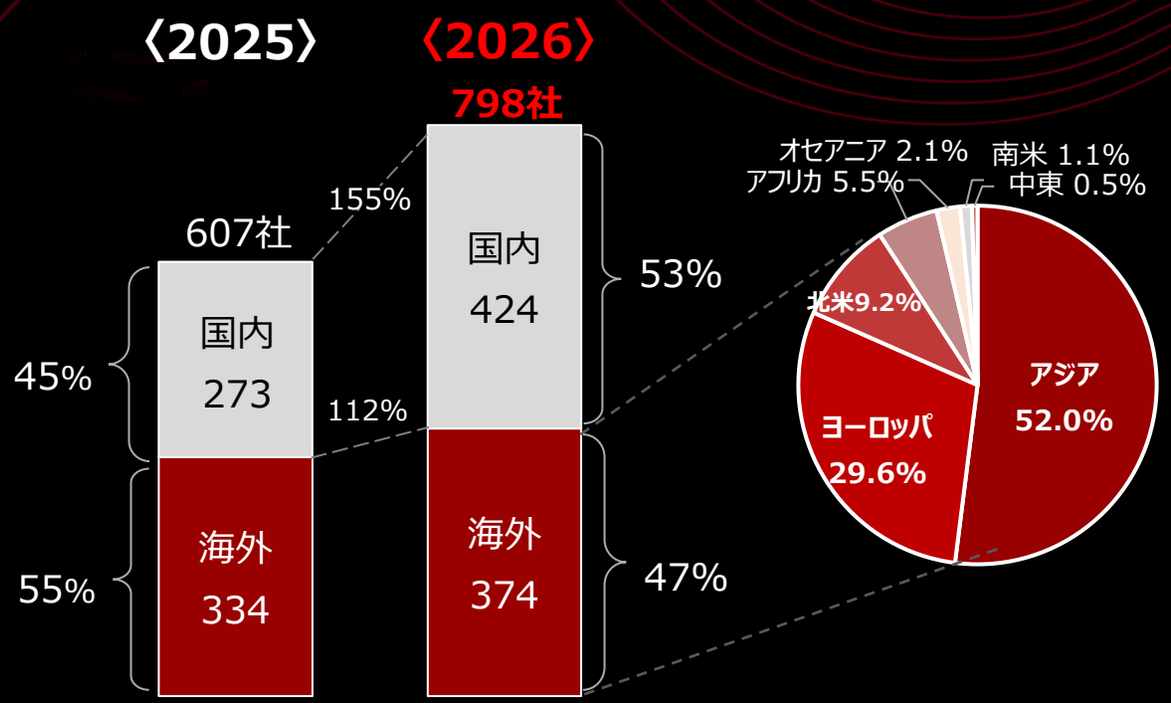






世界中から798社（前回607社）のスタートアップが出展

【出展スタートアップの内訳（地域別）】



【国・地域別出展スタートアップ社数】

※日本を除く上位20

国・地域	出展社数	国・地域	出展社数
台湾	43	インド	11
シンガポール	33	エジプト	11
韓国	32	オランダ	11
アメリカ	30	スイス	11
イギリス	23	香港	10
マレーシア	19	ベトナム	8
タイ	17	オーストラリア	7
フランス	15	ラトビア	6
ドイツ	12	スペイン	6
イタリア	12	チェコ	6







グローバルでの急成長を目指すグロース期のスタートアップ **“SusHi Tech Global Startups”**

50社を超えるスタートアップ（うち出展45社）が、プロダクト・技術の展示に加え、ピッチイベント等を実施

出展企業名	ファーメランタ株式会社
株式会社Sustech	株式会社パワーウェーブ
株式会社Eco-Pork	OptQC株式会社
株式会社カーボンフライ	エイターリンク株式会社
株式会社フツパー	Bioworks株式会社
株式会社アルダグラム	株式会社ファーメンステーション
ライノフラックス株式会社	株式会社TBM
株式会社オレンジ	株式会社LegalOn Technologies
株式会社Solafune	株式会社Logomix
株式会社INTEP	株式会社TOWING
TechMagic株式会社	京都フュージョニアリング株式会社
TopoLogic株式会社	EF Polymer株式会社
株式会社CureApp	SPACECOOL株式会社
株式会社エマルションフローテクノロジーズ	株式会社Dioseve
株式会社天地人	エルピクセル株式会社
ヒューマンライフコード株式会社	株式会社Yuimedi
Zenmov株式会社	株式会社MUSE
LiSTie株式会社	株式会社Helical Fusion
XELA Robotics株式会社	WOTA株式会社
株式会社digzyme	株式会社フェイガー
bitBiome株式会社	株式会社 SUN METALON
ブレイドテクノロジーズ株式会社	Cellid株式会社
Fairy Devices株式会社	つばめBHB株式会社





SusHi Tech Challenge 2026　世界の課題を解決するスタートアップが競演

国内外のスタートアップがそのテクノロジーやアイデアを披露するグローバル・ピッチコンテスト





応募数　60の国・地域から820社
（国内383 社／海外437 社）

優勝賞金　1,000万円

事前審査 → Semi-FINAL（20社） → FINAL（7社）

ファイナリスト

Qarbotech（マレーシア）
Grand Prize

Chor Chee Hoe

Eztia（アメリカ）

Tiffany Yeh

ASUENE Inc.（日本）

Michael Hashimoto

PragmaClin Research Inc.（カナダ）

Bronwyn Bridges

LIFESCAPES（日本）

Ryotaro Hirose

Munice（韓国）

Shawny Kwon

DeepMentor Inc.（台湾）

Mitch Yang

SusHi Tech Tokyo 2026 で行われた新たな発表（108件以上）

国内外のメディアが多数参加するSusHi Techの場を活用し（来場メディア総数268媒体　掲載数2,260件以上）、出展企業等が新製品や資金調達、MoU締結などをステージで発表



ティアフォー
ティアフォーの自動運転技術をパートナーの車両に搭載する取り組みを発表



ドーナッツ ロボティクス株式会社
新型ヒューマノイド（cinnamon mini）を 初公開



FinCity.Tokyo（FCT）
Luxembourg for Financeとの覚書（MoU）調印式



Upstage（AIユニコーンスタートアップ）
ドキュメント業務を変革：AIエージェント基盤「Studio」リリース



パナソニックR&Dセンターシンガポール
Roots Innovationとの覚書（MoU）調印



大阪府
『ディープテックを、世界と共に、産業へ』をコンセプトに、Global Startup EXPO 2026（GSE2026）が大阪で本年10月5日から7日にかけて開催決定！

Session 全678名の多彩な登壇者

うち主催者セッション延べ328名（女性50%、海外54%）



Yuriko Koike
Tokyo Metropolitan Government



Sanae Takaichi
Prime Minister



Chi-Ming Peng
Minister, Taiwan



Liisa-Ly Pakosta
Minister, Estonia



Natalia Denikeieva
Deputy Minister, Ukraine



Hiroko Kado
Member of the House of Representatives



Hideaki Ohmura
Governor of Aichi Prefecture



Ichita Yamamoto
Governor of Gunma Prefecture



Guido Appenzeller
Andreesen Horowitz



Bolor-Erdene Battsengel
AI Academy Asia



Eric Benhamou
Benhamou Global Ventures



Eva Chen
Trend Micro Incorporated



Sooyeon Choi
NAVER Corporation



Rob Chu
Amazon Web Services, Inc.



Teruo Fujii
The University of Tokyo



Ashley Grosh
Breakthrough Energy



Miku Hirano
Cinnamon, Inc.



Motoko Imada
Mediagene Inc.



Hiroshi Ishiguro
The University Of Osaka



Kentaro Kawabe
LY Corporation



Hiroaki Kitano
Sony Computer Science Laboratories, Inc.



Hiroki Koga
Oishii Farm Corporation



Kathy Matsui
MPower Partners



Yutaka Matsuo
The University of Tokyo



Mami Mizutori
Tohoku University



Takayuki Morita
NEC



Akiko Naka
Wantedly, Inc.



Noboru Nakatani
NEC/ United Cyber Force Inc.



Tomoko Namba
DeNA Co., Ltd.



Tetsuya Ogata
AI Robot Association



Catherine Russell
UNICEF



Hidetoshi Tojo
Anthropic Japan G.K.



Takahito Tokita
Fujitsu Limited



Christine Tsai
500 Global



Yosuke Tsuji
Money Forward, Inc.



Miki Tsusaka
Microsoft Japan



Cris Turner
Google



Yoshitaka Ushiku
NexaScience Inc.



Howard Wright
NVIDIA Corporation



Joshua W. Walker
Japan Society

Tiffany Yeh
Eztia Corp

Qasar Younis
Applied Intuition, Inc.

スピーカーリスト

世界の様々な分野のリーダーが都市の未来を議論（158のSession）



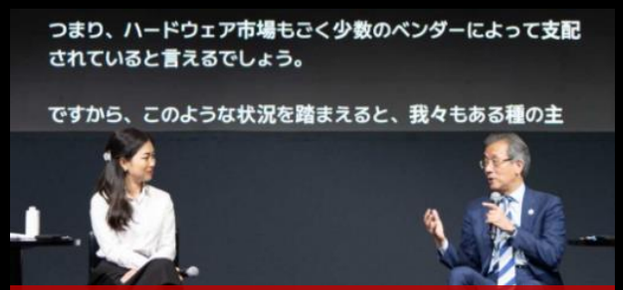
スペシャルキーノート
-変革と成長を牽引するスタートアップへの期待-
（高市 早苗/小池　百合子）



日本のスタートアップのグローバルへの飛躍に向けて
（南場 智子/Guido Appenzeller）



エージェンティックAI時代における政府の最前線
(Natalia Denikeieva,Liisa-Ly Pakosta ほか)



AI x Education
（藤井　輝夫/Bolor-Erdene Battsengel）



アフリカ・イノベーション・フロンティア
（Catherine Russell　ほか）



世界のClimate Techトレンドはどこに向かうのか
（Ashley Grosh ほか）



自動運転の主戦場は"ソフトウエア"へ
（Qasar Younis ほか）

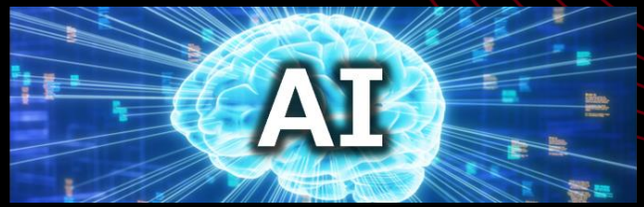


変革のAI時代を進む女性リーダー
（Alexandra Dublanche ほか）



Future of AI and Transformation of the Civilization
（北野 宏明）

Focus on　イノベーションにより社会や人々の暮らしに大きな変革をもたらす領域にフォーカス





AIは次のフェーズへ
（NVIDIA Howard Wright ほか）



信頼できるAIは誰が作るのか
（Anthropic Japan 東條　英俊 ほか）



生活空間に溶け込む
Physical AI x Robotics
（エヌビディア合同会社 平野　一将 ほか）



Where Can Japan Create
Unique Value in Physical AI?
（AIロボット協会 尾形 哲也 ほか）



AI時代の「知」はどう守られ、創られ、
活用されるのか
（東京大学教授 松尾豊 ほか）



AIは社会インフラへ
（NAVER　Sooyeon Choi ほか）



ヒューマノイドロボットのデモ展示
（donut robotics）　（GMO AI＆ロボティクス商事）





and more...

著名人や実業家等によるセッション、スタートアップや大企業の展示・デモ等をパッケージにして展開





見えない脅威を可視化せよ
（トレンドマイクロ　Eva Chen ほか）



グリーン・インテリジェンス
（彭 啓明 台湾環境部長 ほか）



東京が”アニメ業界のハリウッド”になるために必要なこと
（Re entertainment 中山 淳雄 ほか）



音楽コンテンツの海外展開とテクノロジーが拓くエンタメの未来
（ミュージックテック・ジャパン 鈴木 貴歩 ほか）



核融合プラントの模型展示
（京都フュージョニアリング）



小型SAR衛星の模型展示
（Synspective）



AIアニメ制作デモ
（Magic Holic）



AI漫画アプリ展示
（Orange）



and more…

and more…

Business Matching　会いたい人とつながれる様々な仕掛けで 25,140件の商談 を創出

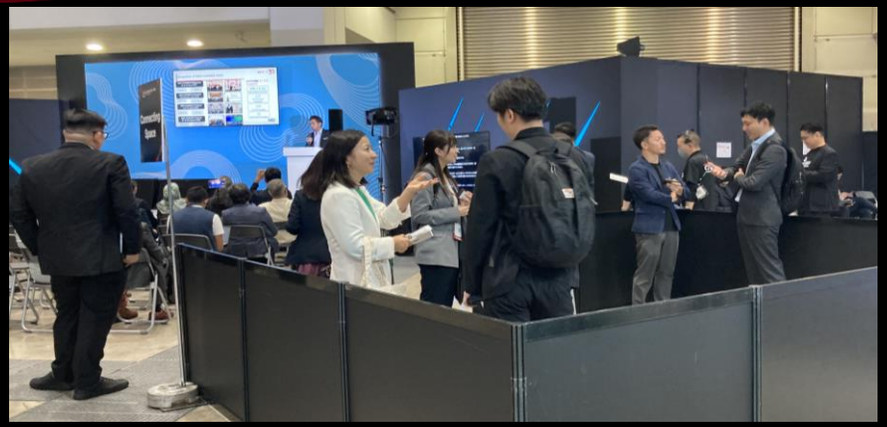
ネットワーキングイベント

- 大企業や有力VCのニーズに応じたネットワーキング
- スタートアップ等の集客を事務局でサポート



セッション後ミートアップ

- グローバル企業経営者、海外VCなどのセッション登壇者と聴講者が、セッション終了後にミートアップを実施



フォーカスオン・テーマによるミートアップ

- AI、Robotics、Resilience、Entertainmentをテーマに、スタートアップや支援者が交流



海外都市によるリバースピッチ

- 海外都市が都市課題を発表し、スタートアップとマッチング
  【モートンベイ】災害対策・インフラ管理
  【ローマ】公共交通・循環型ごみ処理

➡ 秋頃から東京のスタートアップによる現地での実証を実施





大企業や海外VCの参加を拡大し、セッション・ピッチやミートアップを集中的に行うエリアを設置

オープンイノベーションエリア

- 大企業等とスタートアップとのオープンイノベーションを発信するエリアで、TIB CATAPULTのクラスターによる活動などを紹介



インベスターエリア

- 有力なグローバルVCが多数登壇し、セッション後に参加者とのオープンミートアップを実施



商談スペース／アプリ

- 会場内の商談コーナー・ブースを大幅に拡充







- AIが求める相手をリコメンドし、商談予約ができるアプリ



世界中のスタートアップエコシステムが集結　シティパートナー :24の国・地域・都市








































※上記の21の国・地域・都市がパビリオン出展したほか、３つの国・都市がブース出展（ブリュッセル（ベルギー）、アイルランド、コロンビア）

※世界各地から50団体超の海外デリゲーションが来訪し、都内各地でパートナーイベントを開催　（右下３枚は当日の様子）

海外VC・投資家が580名来場（前回506名）

国内外有力VCによるセッションや登壇者と交流できるオープンミートアップなどを実施

3ONE4 CAPITAL
Alumni Ventures
dnx ventures
Fin Capital
isomer capital
NordicNinja
Pacific Summit Ventures
Speedinvest
7wire
aws
HCVC
Jolt Capital
ODE
TSIC TINY SUPERCOMPUTER INVESTMENT COMPANY
99VC
BLITZSCALING VENTURES
Dubai Municipality
HiJoJo Partners
Keyrock Capital Management
Off Topic
Portage
TAI
absa
Boomerang Ventures
8 EIGHT ROADS
hp
Mercedes-Benz
omni
SAMSUNG VENTURES
woven capital
ZACUA VENTURES
ACROSS VENTURES
Carbide Ventures
emerald
HYPATIA CAPITAL
mPOWER
ONSEN GLOBAL
Shell Foundation
Thomson Reuters

and more…







コーポレートパートナー68社が参画し、オープンイノベーションを加速（前回47社）



中央日本土地建物


三井不動産



森ビル



野村不動産



NTTデータ/NTT東日本


セールスフォース・ジャパン



ソニーグループ



住友不動産



東京きらぼしフィナンシャルグループ



東京建物



東急/東急不動産

エンタメ・VC等へ業種拡大し、海外企業含めパートナー数も増加

Gold	
中央日本土地建物株式会社	不動産
三井不動産株式会社	不動産
森ビル株式会社	不動産
野村不動産ホールディングス株式会社	不動産
株式会社NTTデータ	情報・通信
NTT東日本株式会社	情報・通信
株式会社セールスフォース・ジャパン	情報・通信
ソニーグループ株式会社	電気機器
住友不動産株式会社	不動産
株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ	銀行
東京建物株式会社	不動産
東急株式会社	陸運
東急不動産株式会社	不動産

Silver	
Asian Development Bank	銀行
CIC Japan合同会社	サービス
Deel, Inc.	サービス
株式会社DG Daiwa Ventures	サービス
富士通株式会社	電気機器
Google LLC	情報・通信
日本航空株式会社	空運
KDDI株式会社	情報・通信
LED TOKYO株式会社	サービス
日本マイクロソフト株式会社	情報・通信
三菱電機株式会社	電気機器
三菱地所株式会社	不動産
三菱倉庫株式会社	倉庫・運輸
株式会社三菱UFJ銀行	銀行
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	証券・商品先物取引
株式会社みずほ銀行	銀行
National IT Industry Promotion Agency	情報・通信
日本電気株式会社	電気機器
パナソニック コネクト株式会社	電気機器
Qualcomm Technologies,Inc.	電気機器
清水建設株式会社	建設
ソフトバンク株式会社	情報・通信
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社	情報・通信
株式会社三井住友銀行	銀行
株式会社東京証券取引所	その他金融
株式会社ツクリエ	サービス
XL8 Inc.	サービス
ヤマトホールディングス株式会社	陸運

Bronze	
Agorize Japan株式会社	サービス
アサヒグループジャパン株式会社	食料品
ドーナッツロボティクス株式会社	電気機器
株式会社ダスキン	サービス
本田技研工業株式会社	輸送用機器
Intercom, Inc.	情報・通信
株式会社Kotoba Technologies Japan	情報・通信
株式会社日本M＆Aセンター	サービス
レッドブル・ジャパン株式会社	飲料
ソニーピーシーエル株式会社	情報・通信
寺田倉庫株式会社	倉庫・運輸
株式会社VRIHoldings	サービス
ゼブラ株式会社	その他製品

Basic	
アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社	情報・通信
株式会社アルテミスベンチャーズ	サービス
AVITA株式会社	情報・通信
キヤノンマーケティングジャパン株式会社	電気機器
大日本印刷株式会社	その他製品
デイブレイク株式会社	卸売・小売
株式会社デジタルガレージ	情報・通信
ファシリティジャポン株式会社	サービス
キンコーズ・ジャパン株式会社	サービス
LINEヤフー株式会社	情報・通信
ポケトーク株式会社	情報・通信
株式会社セガ エックスディー	情報・通信
三井住友信託銀行株式会社	銀行
株式会社タカラトミー	その他製品

※黄色は新規参画企業

All Japan　全国の48自治体と連携し、日本のスタートアップを世界に発信（前回35自治体）



Japan Stage



首都圏



北海道


東北



Station Ai/Central Japan



北陸



関西



瀬戸内



九州・沖縄



長野県・新潟県※



豊橋市※



徳島県※

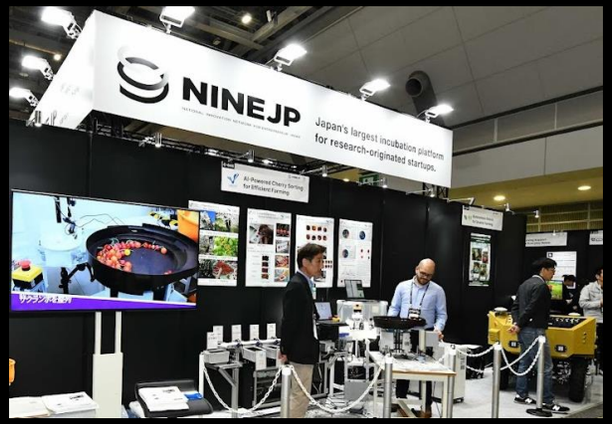

佐賀県※

※はブース出展

全国19大学の大学発スタートアップ・研究者や新たな挑戦を行う中小企業17社が出展

◆ 大学発スタートアップの全国連携組織である NINEJP（※）との協働により全国から選ばれた大学発スタートアップや研究者が出展し、AIをテーマとしたピッチコンテストも開催

※NINEJP＝National Innovation Network for Entrepreneur Japan







◆ 中小企業庁の「アトツギ甲子園」等との連携により、優れた技術を持ち、新たなビジネス展開に取り組む第二創業企業などの中小企業が全国各地から参加







Future Experience

最先端技術の体験コンテンツで未来を体感。多彩な日本の技術でイベント全体を盛り上げ



















Student Program ITAMAE Innovative Technology Academic MAEstro

・学生が海外スタートアップを巡るツアーや学生起業家向けピッチコンテストを企画・運営
・受付や誘導等の会場運営を担う学生ボランティアには846名が参加（前回349名）












学生と海外のスタートアップが交流するインターンシッププログラム
～ University Internship Program at SusHi Tech Tokyo ～

◆スタートアップのスタッフとして会場の準備や日本語サポートを実施し、日本企業との面談のアレンジなども経験
◆公募により選ばれた**全国４大学14名の学生が参加**
・東北大学（大学院）　・武蔵野大学
・明治学院大学　　・早稲田大学




海外スタートアップと日本の学生をつなぎ、グローバルなアントレプレナーシップ人材を育成

Public Day

学生や子供、大人まで誰もが楽しみ、未来を体感する一日



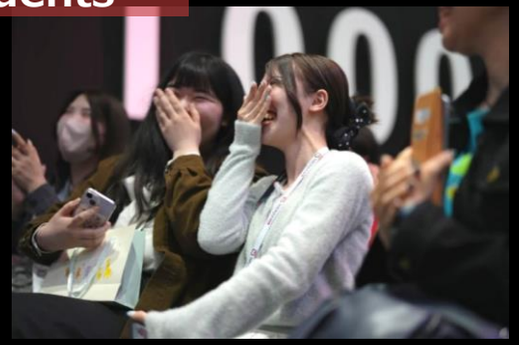




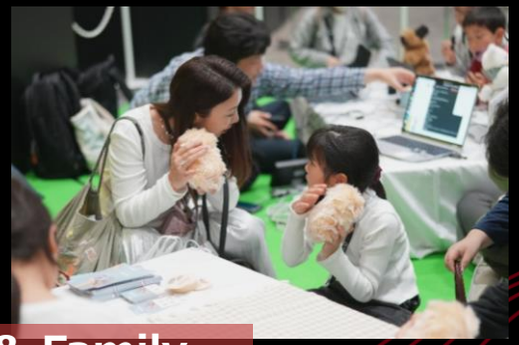


Students









Children & Family









最先端の技術や起業家の情熱に触れ、チャレンジ精神や好奇心を育む







Challenge






Technology






会場内外で東京・日本の魅力や先端技術を体験できる機会を提供

街・水辺の景観や、文化・芸術など、東京の魅力・強みを体感できるイベント

ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2026 in SusHi Tech



Roof Park Fes & Walk 2026



Cruising



Tokyo Innovation NIGHTs



東京アクアシンフォニー



AI Film Festival Japan 2026 Spring Event



最先端テクノロジーを体感するモビリティ

自動運転バス



自動運転バス「Minibus 2.0」を用いて、会場周辺の公道で来場者の試乗体験を実施
（株式会社ティアフォー）

ロボットタクシー



「全天候型×マップレス」自動運転技術を搭載した自動運転ロボットタクシー試乗会
（株式会社ムービーズ）

Palette Ride



次世代モビリティ「e-Palette」が特別ルートで運行
（トヨタ・コニック・プロ株式会社）

UNI-ONE



歩行者と同じ空間で展示を巡りながら、新しい移動体験
（本田技研工業株式会社）

日本のエンタメを発信するスペシャルステージ

光と映像に彩られた歌舞伎SHOW



歌舞伎舞踊『石橋（しゃっきょう）』を特別なステージで披露

TOKYO CALLING, NEXT STAGE. ATARASHII GAKKO! × ROBOTICS STAGE



「新しい学校のリーダーズ」と最先端のヒューマノイドロボットが共演

G-NETS首長級会議

3rd Global City Network for Sustainability (G-NETS) Leaders Summit

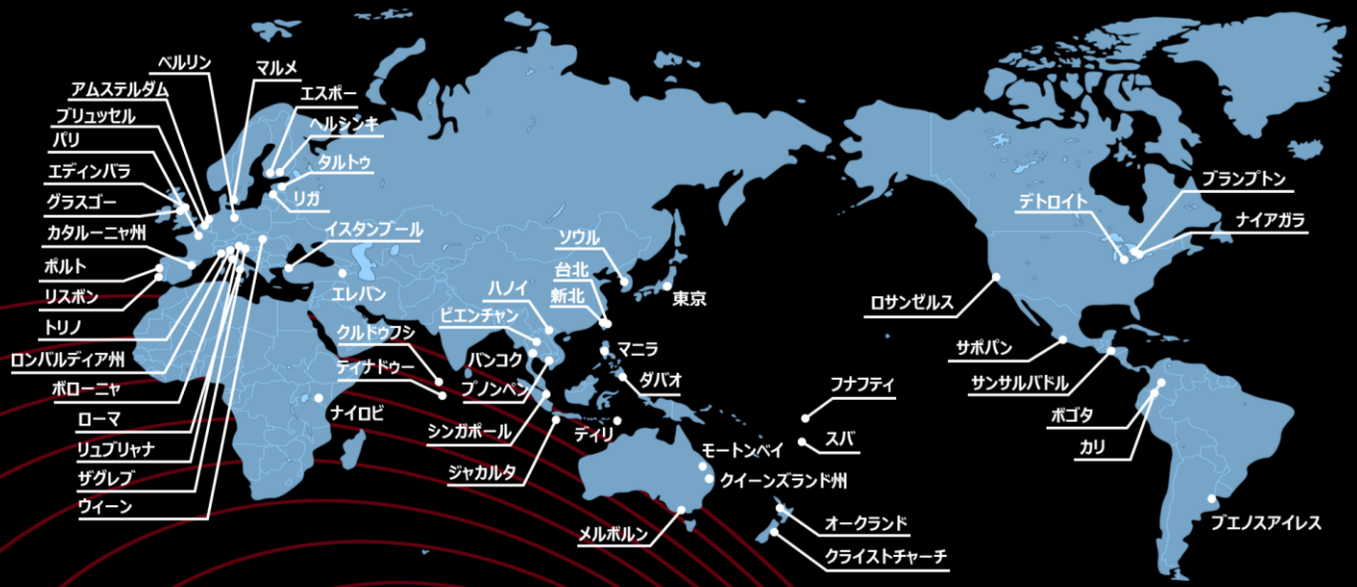
SusHi Tech Tokyo 2026の一環として開催したG-NETS首長級会議（2026年4月27日～29日）には、世界五大陸から55都市のリーダーが参加し、「気候・災害レジリエンスで切り拓く都市の新しい未来」をテーマに、議論や知見を共有

会議の成果は共同声明（コミュニケ）として取りまとめるとともに、新たな取組として、各都市がレジリエンス強化に向けた具体的な行動や目標を宣言し、世界に発信

次回は2027年5月19日～21日にSusHi Tech Tokyo 2027として、第4回G-NETS実務責任者級会議を開催予定



参加都市（55都市）





G-NETS webサイト

G-NETS首長級会議プログラム

Global City Network for Sustainability Leaders Summit

Day１（4/27）
SusHi Tech視察、リバースピッチ、セッション

- ✓ オープニングセッションへの登壇
- ✓ モートンベイ・ローマが都市課題を発表
- ✓ 28都市が自然災害対策、文化・スポーツ、スタートアップ連携等をテーマに発表、意見交換





Day2（4/28）
セッション、コミュニケの発表

- ✓ 21都市が自然災害対策、脱炭素、AI・デジタル等をテーマに発表、意見交換
- ✓ コミュニケを取りまとめ、各都市が今後取り組むアクション宣言と併せて共同で全世界へ発信





Day3（4/29）
視察

- ✓ 26都市が江戸東京博物館、レジリエンス関連施設（江東治水事務所・東京港建設事務所・千代田幹線等のうち1か所）を視察

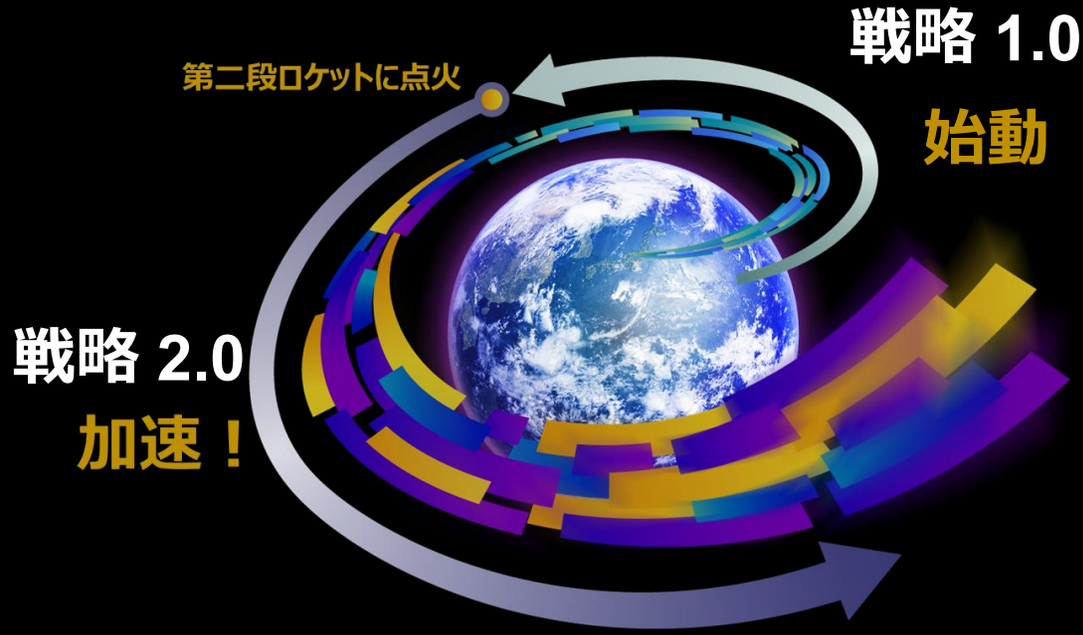




Global Innovation Strategy 2.0 STARTUP & SCALEUP

- 世界の政治経済の動き、AIの飛躍的進展など、情勢は刻々と変化
- 世界の都市のエコシステム競争・共創が激しさを増す

⇒ TIBとSusHi Techの2つのプラットフォームをベースに戦略を加速する



- グローバル×スケールアップ
- 裾野拡大
- 官民協働
- プラットフォーム

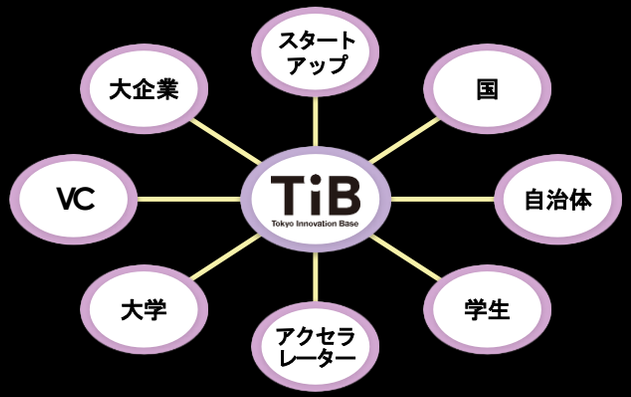
イノベーションビジョン達成のために、社会・経済に貢献し飛躍的に成長する”スケールアップ” と、TIB、SusHi Tech等の”プラットフォーム”を新たな取組の柱に位置付け

Tokyo Innovation Base（TIB）

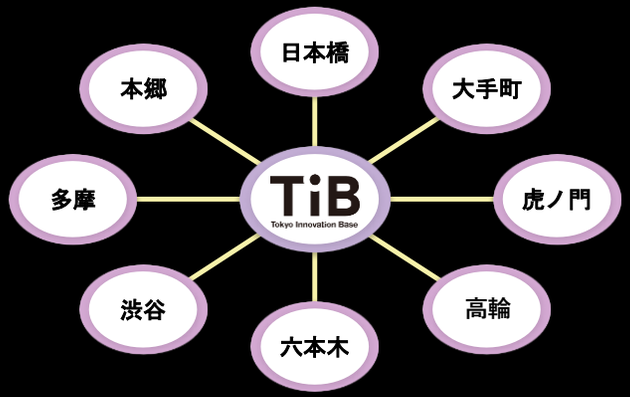
世界中のイノベーションの結節点”NODE”を目指す スタートアップ支援の一大プラットフォーム



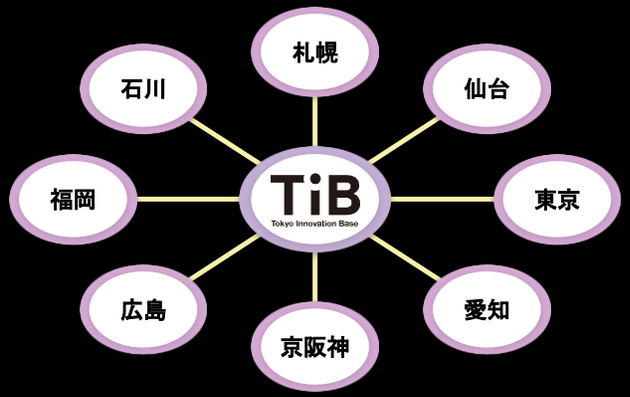
多様なプレイヤーを“つなぐ”



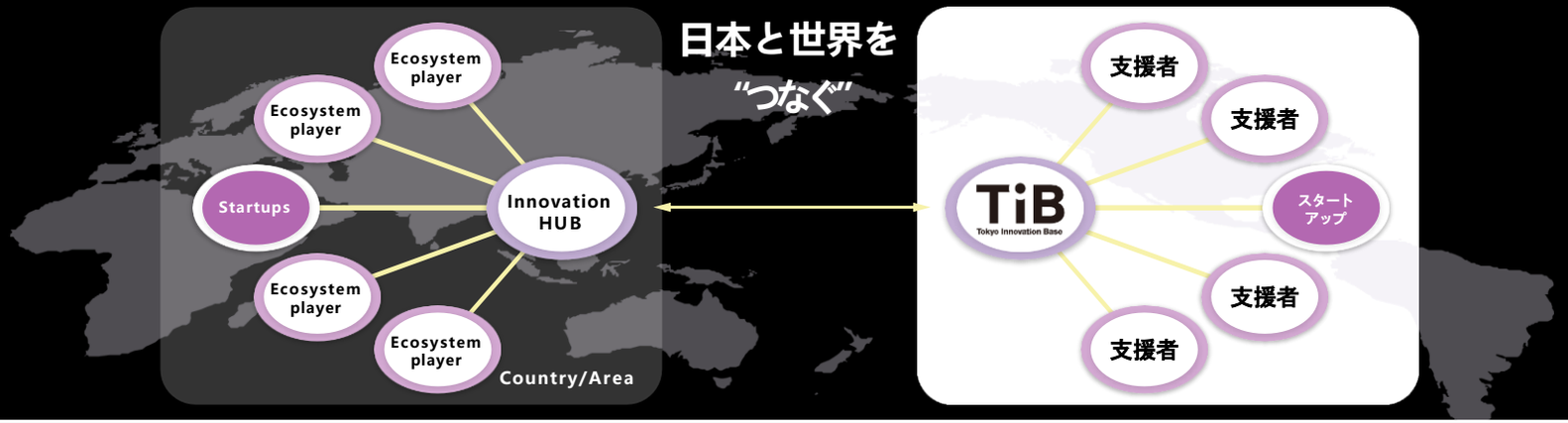
都内のエコシステムを“つなぐ”



全国各地のエコシステムを“つなぐ”



日本と世界を“つなぐ”



Tokyo Innovation Base（TIB）

多様な領域のあらゆる挑戦者が集い交流する拠点として、様々なイベントを展開

来場 43万+名　　イベント 1,900+回　　会員数 8万+名



グローバルカンファレンス


自治体交流


学生コミュニティ


AIコンテンツ



KIDSイベント


アーティスト

（※）数値は2026年6月現在

様々なプレイヤーが交流するオープン＆フラットな空間

①STAGE

300名収容できるイベント会場



②SALON

交流・ワーキングスペース



③ROOM

カジュアルなイベントも展開



④SQUARE

１階を拡張し多様なプレーヤーが交流



⑤FAB

ハードウェアの試作支援



⑥SHOP

テストマーケティング




The next
SusHi Tech TOKYO
Sustainable High City Tech Tokyo
2027
May 20-22
@TOKYO BIG SIGHT
SAVE THE DATE!
JPN